

東やつ オトケドジョウの里だより

◎『谷津田』の今昔

天覧山・多峯
主山を水源とし
た四本の沢で、
現在稻作が行わ
れているのは、
この東やつのあ
る諏訪沢だけに
なってしまいま
した。

江戸末期のこ
の周辺の古地図

主山を水源とし
た四本の沢で、
現在稻作が行わ
れているのは、
この東やつのあ
る諏訪沢だけに
なてしまいま
した。

天覧山・多峯
の真下にまで谷津田が作られています。
本郷入りも御嶽入りも同じく、水源の
山裾にまで谷津田が延びていたのがわ
かります。
里山の【谷津】や【入り】と呼ばれ
る沢や湿地で日の当たりの良い所は、
ことば」とく丁寧に辛抱強く谷津田が作
られていました。しかしながら、
稻作には不向きな低い水温、日照時間
が短いこと、足を取られる深い泥田

寄稿◎田植えの感想文が届きました！

田植え

守る会の人たちと田うえをしました。
田んぼにはいったとたん、「うん」でし
まいました。はだしでやりました。足
がはまつたりころんだりしました。田
うえはちょっとむずかしかったです。
なえをまっすぐにうえられなかつたり
なんか多すぎたり、足がうまくまえに
すすまなかつたりしました。だけどた
のしかつたです。

おたまじやくしもいて、ふみそそうに
なりました。ちいさなやぐもとんぼも
いっぱいいました。おにぎりをたべて
ると、おとうとのぼうしにとんぼがと
まっていました。あとおじさんのシャ
ツにもとまつっていました。おもしろか
つたです。いまでも土と語ふと足がも
ぞもぞとします。

美杉台小学校一年 手島あづさ



「足がぬけないヨオ！」どろんこになっての田植えでした。

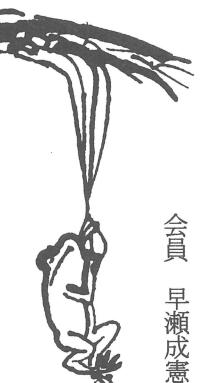
田植えに 参加して

今年で三年目になった米作りは、五
月二十六日まずまずの天気の中、大人
十一人、子供四人をまじえての楽しい
田植えとなりました。苗は一ヶ所に五
本づつ。しかし八本になつたり終わり
の頃には三本になつたりでした。やつ
田の田圃はわき水がいつもしみでてい
て沼地のようなのでずぶずぶと足をと
られ移動するのがたいへんです。田圃
もいろいろなところがあつたようで中
には腰の上まで泥にまみれ田植えをする姿をテレビで見たことがあります。

やつ田の田圃ももう少し浅いと、もつ
と皆が田の中に入りやすいかなと思いま
した。

去年は、台風の大雨と猪が土をほじ
くりかえしたりで、畦が壊れたので、
田植え前に間伐材を使つて修理をしま
した。猪はなんとも言えませんが「風
にはきうと工夫夫ぢしゅう」。

これからも 水の見回りや、
草とりなどが稻刈りの時までつ
づきます。どうぞ皆さんもどん
どん参加しませんか！楽しい
ですよ。 会員 江口良一



会員 早瀬成憲

……谷津田は平地の田んぼに比べる
と、収量が少ない割に骨のいる、つら
い農作業だったことでしょう。

東やつの周りも「今は林となつてい
るが、以前は畑が拡がっていた。」と
土地の人は話してくれました。きっと
それらの畑では、桑や芋や麦、それと
自給用の野菜が作られていたのでしょう。

東やつの周りも「今は林となつてい
るが、以前は畑が拡がっていた。」と
土地の人は話してくれました。きっと
それらの畑では、桑や芋や麦、それと
自給用の野菜が作られていたのでしょう。

